

## 2. 現状と課題に基づく成果指標の設定

### ■ 現状と課題をふまえた施策の目的

神奈川県道路懇談会 から提言された「神奈川県の道路行政の方向性」を考慮しながら、主に、交通渋滞、交通事故、震災対策、歩行環境などの観点から神奈川県の道路に関する現状と課題、施策の目的を整理しました。

神奈川県道路懇談会：神奈川県域の交通の現状をふまえ、今後の道路行政の方向性を検討するために、有識者の方々からご意見をいただくことを目的に設立（平成14年8月）。

#### □ 神奈川県の現状と課題

**依然として解消されない交通渋滞：**神奈川県内の一般県道以上で、幅員が確保され、渋滞が起きにくい区間の割合は約3割と低く、平均的な走行速度は、全都道府県で3番目に低い水準です。これを解決する自動車専用道路網の形成等が課題です。

**発生率の高い交通事故：**神奈川県は、走行台キロ当たりの交通事故発生件数が全国ワースト1となっており、早急な交通事故対策が課題です。

**緊急を要する震災対策：**東海地震、神奈川県西部地震等の切迫性がある中で、横浜港は緊急輸送物資受入港に指定されている他、県周辺八都県市では「八都県市災害時相互応援に関する協定」を締結しており、震災時にはこれらを機能させる安全・確実な道路網の確保が課題です。

**歩行空間の安全性・快適性の低下：**県民の約7割がバリアフリーの整備状況に不満を感じており、さらに、高齢者や身障者による道路の歩きやすさ、使いやすさについても「歩道が狭く、車いすなどが通りにくい」という不満が約7割を占め、歩行時の安全性・快適性の向上が課題です。

**産業活動の活性化：**神奈川県の産業は、工業製品出荷額等が首都圏で最も高いなど、国内でも重要な位置を占めます。しかし、重化学工業等を中心に日本経済を牽引してきた京浜臨海部の空洞化が顕在化しているなど、県内の産業活動を支援することが課題です。

**豊富な観光資源の利用促進：**神奈川県は、京浜地域の都市型、湘南・三浦地域の海洋性及び箱根・丹沢地域の山地系等の豊富な観光資源を有しています。アクセス性の向上などにより、これらを十分に活用することが課題です。

**沿道環境の改善：**幹線道路の沿道などでは、夜間でも騒音の環境基準を超える場所が多く存在し、騒音レベルを低下させるなど、住民の快適な生活環境を確保することが課題です。

#### □ 神奈川県の道路行政の方向性

・生活の安全を守り、安心とゆとりを持って暮らせる地域の実現

・都市環境を改善し、快適な生活環境を提供する地域の実現

・我が国の経済活動や都市活動を担う、活力に満ちた地域の実現

・個性的な文化を育み、豊かな余暇活動が楽しめる地域の実現

#### □ 施策の目的

交通渋滞の解消

交通事故の削減

震災に対する安全性の向上

歩行時の安全性・快適性の向上

自動車専用道路へのアクセスの向上

沿道環境の改善

## ■ 成果指標の設定

- 道路整備に関する施策・事業を進めていくにあたって、5つの施策の目的に対して7つの成果指標を設定しました。
- 指標の選定は、神奈川県における課題の解決に向けた成果を評価できること、道路整備事業による効果が明らかな事象であること、継続的なデータ収集体制が整っていること等を考慮して行いました。
- 各指標については、県内の状況、データの収集体制をふまえ、次年度以降適宜見直しを行っていきます。また、騒音等の環境に関する指標は、データ収集状況から今年度は含めていませんが、これらの課題は重要であり、今後追加を検討していきます。

## □ 施策の目的と成果指標

| 施策の目的            | 道路行政の方向性との関連                                                                                                                                                                                                                                                | 成果指標                           |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 交通渋滞の解消          |          | ●指標1：<br>渋滞箇所数                 |
|                  |                                                                                                                                                                                                                                                             | ●指標2：<br>渋滞損失時間                |
| 交通事故の削減          |                                                                                                                                                                          | ●指標3：<br>死傷事故率                 |
| 震災に対する安全性の向上     |                                                                                                                                                                          | ●指標4：<br>橋梁の耐震補強率              |
| 歩行時の安全性と快適性の向上   |    | ●指標5：<br>バリアフリー化率              |
|                  |                                                                                                                                                                                                                                                             | ●指標6：<br>無電柱化計画延長に対する<br>無電柱化率 |
| 自動車専用道路へのアクセスの向上 |                                                                                       | ●指標7：<br>ICへの20分到達圏域           |
| 沿道環境の改善          |                                                                                                                                                                          | 今後指標の追加を検討                     |

## □ 神奈川県の道路行政の方向性

・生活の安全を守り、安心とゆとりを持って暮らせる地域の実現

・都市環境を改善し、快適な生活環境を提供する地域の実現

・我が国の経済活動や都市活動を担う、活力に満ちた地域の実現

・個性的な文化を育み、豊かな余暇活動が楽しめる地域の実現